

平成 28 年 4 月 1 日に施行された改正農業委員会法に伴い、農業委員会の役割が「農地利用の最適化」に向けて強化され、これまでの農業委員に加え、新たに「農地利用最適化推進委員」が設置されました。

農業の現状は年々厳しさを増していますが、農業委員会の皆さんには我が町の農業振興とまちづくりのために、地域農業のリーダー役を担っていただきます。任期は平成 32 年 7 月 19 日までの 3 年間です。

● 農業委員：11 名



樋口 太一 会長  
(高岡)

人口減少社会の進行や平成 30 年からの米政策改革、日欧 EPA 交渉の大枠合意など、内外とも一層厳しさを増す中ですが、地域産業としての農業の活性化と担い手育成、支援充実に努力して参ります。  
町民皆様のご指導、ご協力を  
よろしくお願いいたします。



中川 剛 会長職務代理者  
(山口)

農業の大改革、人口減少による消費構造の変化等、大きな転換期にあつて、農地の多面的機能や生命産業である農業の不变的価値を次世代を担う後継者の方々に繋げられるように、新たな視点と豊かな発想により行動して行きます。



丸川 正博 委員  
(横田尻)

農地の所有から利用への再構築により、農地が活性化され農業の生産振興につながるものと思っております。  
農地全般に関する相談や、農業に積極的に取り組んでいる担い手の意見が反映されるように、パイプ役として努めて参ります。



小林 孝次 委員  
(滝野)

第 21 期白鷹町農業委員会農業委員に就任することになり、身の引き締まる思いです。その重責と役割を理解し、委員の仕事を遂行したいと思えます。農業全般が大きな変革の時代になっている中、農業委員会の役割は重要であると思えます。3 年間がんばります。



梅津 彰 委員  
(鮎貝)

農業人口が減少している中、荒廃地の活用や新規就農者の増などに協力し、美しい白鷹町を後世に残していきたいと思えます。



福田 京子 委員  
(十王)

農業に従事せず、利害関係を有しない者としてご推薦いただき、農業委員を務めさせていただきますことになりました。  
皆様からのご指導をいただきながら務めさせていただきますと思っております。  
どうぞよろしく願います。



齋藤永治郎 委員  
(菖蒲)

この度、荒砥十王地区区長会の推薦をいただき、農業委員となりました。  
諸先輩方のご指導を仰ぎながら、精一杯がんばります。  
よろしく願います。



大木 光明 委員  
(畔藤)

今現在、農業従事者の高齢化が進む中、中山間地の農業のあり方についてなど、地域の皆様方とよく語り合いながら、地域農業の発展に努力していきたいと思えます。  
よろしく願います。